

大治町総合計画にかかる
住民ワークショップ報告書

平成21年12月

< 目次 >

1	住民ワークショップ開催概要.....	1
	(1) 開催の目的と検討内容.....	1
2	第1回検討結果.....	2
	(1) 「大治町の良いところ」の検討.....	2
	(2) 「大治町の悪いところ」の検討.....	3
3	第2回検討結果.....	5
	(1) 得点投票による重点課題の絞り込み.....	5
	(2) 3つの重点課題の「現状と課題」「解決策」の検討.....	6
4	第3回検討結果.....	9
	(1) 3つの重点課題の解決策の検討（自助・共助の視点から）.....	9
	(2) 地域資源（強み、魅力）を活かしたまちづくりのアイデア.....	11
5	住民ワークショップを終えて.....	12
	(1) 住民ワークショップ参加者の感想（主なもの）.....	12

1 住民ワークショップ開催概要

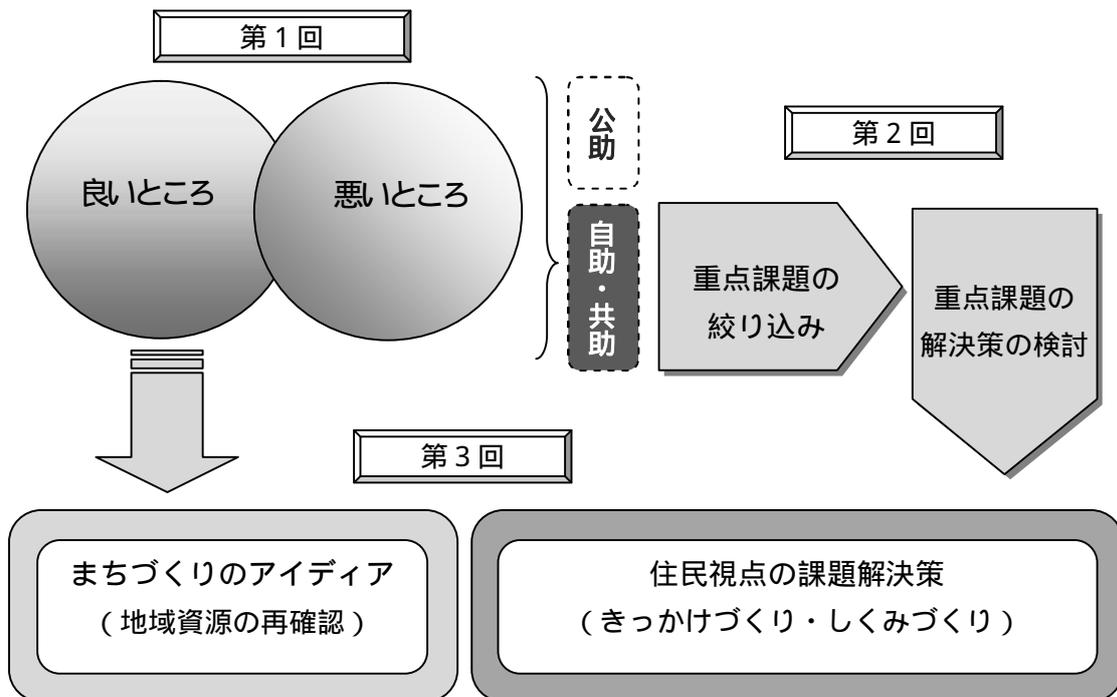
(1) 開催の目的と検討内容

第4次大治町総合計画（計画期間：平成23年～32年）の策定に際し、今後の協働のまちづくりの機運を醸成するため、住民の視点（自助・共助）からの大治町の「現状と課題」「課題の解決策」「まちづくりのアイデア」を、住民公募の参加者（18名）により、以下3回にわたり検討しました。

開催日及び検討内容

開催日	検討内容
第1回 平成21年10月17日(土)	オリエンテーション 『大治町の良いところ・悪いところ』の検討
第2回 平成21年10月31日(土)	重点課題の絞り込み 『重点課題の問題点と解決策』の検討
第3回 平成21年11月14日(土)	『重点課題の問題点と解決策』の検討 『地域資源（強み・魅力）を活かすまちづくりのアイデア』の検討

住民ワークショップの検討イメージ図



2 第1回検討結果

第1回検討議題として、「大治町の良いところ」「大治町の悪いところ」について、3グループ（A、B、C）に分かれ検討した結果、以下のような意見が挙げられました。



(1) 「大治町の良いところ」の検討

	キーワード	良いところ
Aグループ	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい人が多い。 ・のんびりしていて住みやすい。 ・近所とのつながりがなくて楽。
	交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い。 ・交通の利便性が高い。 ・大都市に近い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが役場に持っていけて助かる。 ・ボランティアが多い。いろいろな活動がある。 ・道路に花が多い。 ・大治町の太鼓や吹奏楽が立派。 ・小学生の男の子がゴミを出していた。
Bグループ	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで参加される方がたくさんいる。 ・ボランティア活動が盛ん。 ・ボランティア団体がたくさんある。
	人（地縁）	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のつながりが強い。（同級生など） ・親世帯の友達のつながりが良い。
	生活利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋に近く便利である。 ・交通の便が良い。（市バス・名鉄バス） ・物価が安い。 ・買物に便利な地域である。
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援をしようとしている。 ・子育て支援が充実している。 ・子育てした中でも、講座などにたくさん参加できた。 ・近所の方が子どもによく声をかけてくださる。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が良い。（田・畑・緑あり。） ・空気はまだきれい。
	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大治町を盛り上げようと思っている人が多い。 ・年金生活者が地域に参加しようとしている。 ・住民による地域活動が活発である。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな箱物施設がたくさんある。 ・上（国や県）の指示をすぐ実践する。

	キーワード	良いところ
C グループ	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々がそれぞれの役割をもち、助け合っている姿を見る。 ・地域のコミュニティが機能している。 ・いろいろな団体を認可していて頼もしい。 ・ゴミ出しで乱雑な状態を、進んで整理していただける人がいる。 ・各3地区で祭りがある。
	文化	<ul style="list-style-type: none"> ・大治太鼓の人たちのがんばりはすばらしい。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・長牧地区には田畑が広がり、ホッとした気分になれる。 ・住みやすい環境が残っている。 ・田舎でもなく都会でもなく住みやすい。 ・住みやすく、自然が多い。
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・結構、福祉が充実していると思う。 ・福祉施設が整っている。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・同報無線で重要事項が放送されている。(他町村にはあまりないと思う。) ・税(住民税)が安い。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスが良い。 ・市バスが運行されている。 ・名古屋駅まで車で20分で行ける。 ・名古屋駅に近くアクセスが良い。 ・名古屋までの交通が一応充実している。近い。
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが多い。 ・子育て支援の場が多い。いろいろな体験ができる場がある。
	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが公園で遅くまで遊んでいても安心。 ・安心して暮らせる。
	暮らしの利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・ドラッグストア・コンビニエンスストアが多い。

(2)「大治町の悪いところ」の検討

	キーワード	悪いところ
A グループ	挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの挨拶がない。 ・挨拶がない。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・町が何をしているか、知らないことが多い。 ・広報のマイクの声が聞きにくい。 ・保健センターの駐車場が狭い。検診のときに送り迎えが必要だった。 ・プールが使えない。
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路が狭いところが多い。 ・道路の白線が消えているところがある。 ・安心して歩ける道路が少ない。
	川	<ul style="list-style-type: none"> ・川が汚れていて汚い。 ・蚊がすごく多い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署があったほうが良いと思う。 ・核となる商業地域が見当たらない。 ・10年前の計画があまり進んでいない。 ・老人の一人暮らしが多い。 ・ボランティアの交流がない。 ・いつも行くスーパーが感じ悪い。 ・野菜を多くいただいたので、近所に持っていったら嫌な顔をされた。

	キーワード	悪いところ
B グループ	広報	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課がない。 ・町全体で盛り上がる祭りが少ない。 ・広報に面白味がない。 ・大治町を宣伝する特徴がない。
	ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミがきたない。 ・ゴミ出しマナーが悪い。 ・資源ゴミの回収日が少ない。
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会などに入会する人が減っている。 ・組織すべて横のつながりが少ない。 ・各種団体が交流する場が少ない。 ・標札がわかりにくい。 ・すべての組織が目標が少なく、行事の進行におわれている。
	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの増加で校舎が不足している。 ・西小地区は子どもの集まる建物がない。 ・他町村から人を呼べる施設がない。
	施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・町民との間に壁がある。 ・町施設の利用窓口がバラバラ。 ・公共施設の利用規定が硬い。 ・リーダーが名のりでない。
	公園	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな公園がない。 ・公園が少ない。 ・緑地を残してほしい。
	インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備が進んでない。 ・安全に歩行できない。(車優先となっている。) ・道路の舗装がデコボコで危ない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・老人には日ごろの買物に不便。 ・道路端の雑草がのびている。 ・町財政が良くない。 ・やる気や元気が生まれる目的がない。
C グループ	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別はできているが、個々の出し方に問題がある。 ・ゴミ出しのルールにまるで無頓着な人がおり、集積場所にゴミが散乱している。 ・どの団体も顔ぶれが一緒だから、もっと一般にPRしてほしい。
	文化	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が交流できる場が少ない。 ・町でのイベントが少ない。 ・町主催の大きな行事がほしい。町全体の盆踊りなど。 ・町民運動会がなくなったのは寂しい。 ・観光PRが下手。 ・町を代表するシンボルがない。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない。 ・公園がない。 ・公園が地域にない。ボール投げなどができない。 ・河川の美化などを考えてほしい。
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・学童の預かり人数を多くしてほしい。 ・空いている施設を、子どものために使わせてほしい。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・生活廃水が田に入っている。 ・下水道がない。 ・単独になってしまった。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しい道路がない。 ・自転車安全に乗れない。 ・自転車に乗っていて少し危ないところがある。(通学路) ・津島街道は路側帯の幅が狭すぎて歩行しにくいし、自転車が通れない。 ・道路が狭く(歩道もなく)歩行者が安全に歩きにくい。 ・車幅が狭いところが多い。 ・道路がバリアフリーになってない。 ・中学校の駐車場がない。

3 第2回検討結果

第1回検討結果の「大治町の悪いところ」を9つの課題に整理し、それらを選択肢として、特に検討を深めるべき重点課題を参加者の得点投票（上位3位）により絞り込みました。

さらに、それら3つの重点課題について、「現状と課題」「解決策」を挙げていただきました。



(1) 得点投票による重点課題の絞り込み

得点投票結果

課題名	得点
課題 ゴミの分別・出し方	15
課題 大治の伝統・文化・自然の継承	7
課題 各種団体の交流・連携	21
課題 道路の安全確保	30
課題 河川の美化活動	24
課題 地域における子育て支援	24
課題 高齢者の見守り活動	0
課題 地域における防災・防犯活動	15
課題 世代や居住年数の違う住民同士の交流	17

重点課題 『道路の安全確保』
重点課題 『河川の美化活動』
重点課題 『地域における子育て支援』

(2) 3つの重点課題の「現状と課題」「解決策」の検討

重点課題 『道路の安全確保』

	現状と課題	解決策
A グ ル ー プ	道が暗い。	
	道路の死角が多い。	
	違法駐車が多い。	
	道路わきに草木が多い。	
	道路と歩道の境がない。	
	速度表示が少ない。	
	歩道についたガードの幅が狭い。	
B グ ル ー プ	雑草の手入れ。	とびでている植木、雑草の除去。
	下校時、遊んで帰る時間に車のスピードが一番危ない。	津島街道のガードレールを撤去し、歩行者の安全を確保する。
	自転車は車道走行となり、歩車道の整備が必要。(自転車運転の教育)	狭い道路は車が入れないようにする。
	オンブの方だけでなく、親も子どもの安全に関わった方がよいのでは。	
	舗装が途中ででこぼこしている。	
	段差が多く、舗装がボコボコで自転車が走りにくい。	
	カーブミラーが見難い。少ない。	
	どぶとの境がわかりにくい。	
	歩道が狭い。	
	進入禁止が守られない。	
	細い、狭い道路が多い。	
	歩道の不整備。	
	歩道が少ない。	
	車優先から、歩行者優先へ。	
夜道が暗い。		
C グ ル ー プ	自転車、歩行者のマナーが悪い。	学校や家庭での交通安全教育。
	夜間、自転車の点灯をしてないのが多い。	罰則を作る。
	夜間でも無灯火で自転車が走行。	通行規制を強化。
	児童の交通マナーの悪さ。	歩道を広く。通学時間だけでも通れる地帯を確保できたら。(理想)
	狭い道路に限って抜け道の利用が多い。	
	自転車の横並び運転が多い。道路の真ん中を走る。	道路を広くしてもらえないが、郷中では広くしたらしたで、車の通行が多くなったり、スピードをだす車が増える。
	路上駐車がが多い。	
	駐車違反の車輛を多く見かける。	
	時間限定進入禁止道路に自動車が入ってくる。	
	段差のある道路が多くある。(例、公民館前)	
	自転車は左側通行を理解していない人がある。	
	公園の設備が少ない。	
	規制速度(車)が速い。もっとゆっくり。	
	時間帯により、交通量の多い所でも、信号のない所が多い。	
	生活道路の幅が狭い。歩行者とか自転車通行が大変。	
	停止線、白線がかすれている所を多く見かける。	
	歩道が狭い。(津島街道)	
	街灯が少ない。夜道が暗いので自動車や自転車の発見が遅れる。	
	危険な通学路ゾーンが多い。	
	通学団通路が狭く危険である。特に小学校・中学校・高校の朝のラッシュ。	
生活道路での車のスピード走行。		
生活道路での自動車の交通量が多い。		

重点課題 『河川の美化活動』

	現状と課題	解決策
A グループ	美しくする立場の人が見てるだけ。	
	ゴミが多い。	
	水の流れがないので臭いがある。	
	河川＝ドブ。	
B グループ	ゴミが多い。	かかわらせる仕組み。かかわりたくなる仕組み。
	悪いことではないが、蚊が多い。	
	ゴミの投げ込み。	環境活動勉強として、町主催で子ども参加の河川美化活動をする。
	用水にゴミが多い。	
	西條の川（福田川）のゴミの量が多い。（臭いも）	住民参加のゴミ拾い活動。参加することでゴミを捨てなくなる効果が広がりをもせる可能性も生まれる。
	ゴミが多く、雑草の丈が伸びても放置されている。	
	中小用水では土手の草刈りが不完全。	誇れる美観あるまち。 河川敷を野外公園化する。
	土手のコンクリート化。垂直化。	川のふちに桜の木や花を植える。地域ごとに木や花の種類を変えて。
	堤防のふちがきちんとしていないので、道路の舗装が途中でとまっている。	
	前提として、現河川の災害に対する安全性能調査が公開であること。	ボランティア活動による堤防のゴミ収集。 定期的な川ざらえ運動。 ゴミを取り除く。
	用水はフタをする。町営駐車 or 駐輪の場としたり、広場として有効活用もできるのでは。	
C グループ	不法投棄が多い。	河川の周りを花で飾る。
	本当に汚い。ゴミを川に捨てる人がいる。	河川に花を植えたりする。（河川を利用できる土地利用を考える）
	河川にゴミが捨てられている。	
	ゴミの放置が目立つ。	河川のウォーキングルートを作る。散歩。
	悪臭のする場所がよくある。	環境保全のイベントを行う。
	ゴミが散乱している。	
	生活排水が入り込む。	
	柵が壊れていて子どもだと侵入できそう。	
	流れがなくて汚れが目立つ。	
	河川にフタがある所は、理由があつてのことだが、なるべくフタのないようにしてほしい。	
	川から悪臭がする。	
	田に汚水が入り、悪臭がする。	
	夏場のにおい。	
	チビ子広場に簡易式トイレしかない。	
6月頃にカメが産卵期を迎え庭に卵を産みにくる。子どもが触るのではないかと不安。		

重点施策 『地域における子育て支援』

	現状と課題	解決策
A グループ	学童が増えるとよい。	
	子育てサークルがあるが、近い所にはない。	
B グループ	核家族化が進んでいる。	お年寄りと子育て交流する場所をもうける。
	子育てに悩むお母さんが多い。	希望の家。子ども・ママとお年寄りの交流。
	夏休み等、日中に子どもの集まる場所。	公園の見守り。
	子どもだけでも安全に遊べる場所。	防災センターとか空いている施設を有効活用する。
	雨の日でも子どもが安全に集まれる場所。	
	子育て支援するにも、大治町の財政で支援を実行することができるのか。	
	大治といえば「これ!」という、代表的な祭りとか集会がない。	
C グループ	公園が少ない。	キャンプ場を造る。
	遠足に行けるような大きな公園を造ってほしい。	若い世代の夫婦を大治町に呼ぶためにも必要ではないでしょうか。
	チビッ子広場の広さが不十分で、小学生には十分な遊びや運動が保障できない。	
	公民館の和室の意味がわからない。子どもに茶道、華道を教えてほしい。	学童を預ける場所を多くすればいいと思う。
	子どもが遊んでいる姿をあまりみかけない。	気軽に参加できる雰囲気と口コミ? 情報を広くする。
	チビッ子広場が減ってきている。	規制を全般的にゆるくする。
	学童の規定を軽くして待機児童の数を減らす。	
	子育てのセミナーがもっと多くなるといい。	



4 第3回検討結果

第2回検討結果を踏まえ、3つの重点課題の解決策について、自助・共助の視点からさらに検討していただきました。また、第1回検討結果の「大治町の良いところ」を地域資源としてとらえなおし、まちづくりのアイデアを挙げていただきました。



(1) 3つの重点課題の解決策の検討（自助・共助の視点から）

重点課題 『道路の安全確保』

雑草を除去しよう！

- ・道路の草刈りボランティアを募る。
- ・総代の協力を得て、雑草の除去を定期的に地域で行うよう回覧板をまわす。
- ・私有地公有地をしっかりと選定し、公有地だけでも雑草の除去を行う。
- ・ゴミゼロ運動のときに、私有地も雑草を取るよう呼びかける。
- ・地区で定期的に地区内の公園、道路の草刈りを行う。
- ・大人がゴミ掃除をする見本として行動する。
- ・町、字、組、個人での意識を持つ。声かけをしていく。

学校や家庭での交通安全を考えよう！

- ・学校で交通安全教室をやっているが、さらにしっかりと交通安全の教育をしてもらう。
- ・TVのキャラクターを使って、子どもたちを集めるキャンペーンをして、子どもに楽しみながら交通安全の意識を高める。
- ・年代に応じた交通安全教育をし、毎年子どもたちが参加できるような教室を開く。親子で参加できるようにする。大人が背中ですす。
- ・交通安全（危険地及び場所）の町全域の見直し。
- ・見守りだけでなくモラルを教える。
- ・ボランティアの教室（交通安全）は子どもより大人から。

重点課題 『河川の美化活動』

住民参加のゴミ拾い活動を進めよう！

- ・プランタ等を置いて、河川にゴミを捨てにくいようにする。（モラルを高める）
- ・人の往来が多くなるような企画をして、ゴミを捨てにくくする。
- ・「ゴミを捨てないで」という趣旨の小中学生の啓発ポスターを貼る。
- ・花を植えたり、子どもが関わるなどして、捨てられない仕組みをつくる。
- ・ボランティアによる収集物の処理問題がある。
- ・ゴミゼロ参加者拡大の工夫。子ども参加の宝探しなど。
- ・家庭ごみを用水へポイ捨てしないよう意識づけ。（すでに知らされている）

重点施策 『地域における子育て支援』

口コミ情報を広げよう！

- ・広報をしっかりと見るようにする。
- ・行事を行ったあと広報に掲載し、来年の開催予定や連絡先を書き、次回に参加しやすくする。
- ・ホームページ上でボランティアの活動を紹介できるようにする。そこで意見交換ができるような掲示板をつくる。
- ・定期的な町政報告会を開く。
- ・大治町のホームページと各団体のホームページをリンクできると良い。
- ・施設の説明などのパンフレットを作る。

気軽に参加できる雰囲気づくりを進めよう！

- ・ホームページに画像を掲載し、セミナーの活動内容や参加者の雰囲気を分かりやすく説明する。
- ・セミナーの人数制限を柔軟にし、参加者数を増加させる。
- ・目安箱みたいなものを作って、やりたいセミナーの開催のきっかけ作りを町にお願いする。
- ・施設を利用しやすくする。
- ・ボランティア団体の紹介。活動のお知らせ。
- ・イベントに同乗して、親子がともに楽しめる何かをしたい。
- ・親子でミニ農業を体験でき、収穫時に試食する会も良い。

(2) 地域資源 (強み、魅力) を活かしたまちづくりのアイデア

モロヘイヤや赤しそ、砂子カボチャを使った地産地消の産物を育成する。

地元の食材を使った料理教室を開催する。

「しそ」ゼリーは日持ちすると思うので、ゼリーをアピールする。

砂子カボチャのような名前のついた特産物を作る。

地域特産物の販売をする。

地元産をアピールする。

ウォーキングマップで名所・旧跡・食を紹介する。

神楽回しを文化資産とする。

名所・旧跡を利用した文化施設を使った産物を作る。

明眼院をもっとアピールし、盛り上げる。

施設を資源として有効利用する。

地場企業を応援する。



5 住民ワークショップを終えて

住民ワークショップ参加者より、以下の感想が寄せられました。

(1) 住民ワークショップ参加者の感想(主なもの)

他の住民の本音の意見を聞くことができ、また、まちづくりへの関心の高さを知ることができた。

大治町の悪口を言っているだけでは、良くなる。自分たちでできることを考えよう。

3つの重点課題は、すべて共通する部分があると思いました。ワークショップの検討結果が形になることを願います。

参加してみて知らないことを知れた。また、他の話題のワークショップにも参加したい。

町のことを真剣に考えている人がこんなに多いことに気がつきました。

ワークショップそのものを目的とするのではなく、そこから出てきたアイデア、提案を1つでも2つでも実現してほしい。

ワークショップの内容を町民へどんどん公開してほしい。論点を変えたワークショップを開催してほしい。

検討結果を十二分に分析し、住民の多くが読んでわかりやすい総合計画にしてほしい。